

こんな活動です

子どもの学びと安心をみんなで生み出す、支える 「学校と地域は運命協働体」

北海道北広島市	●活動名 放課後子供教室	●関係する学校名 北広島市立大曲小学校 北広島市立双葉小学校 北広島市立東部小学校
---------	-----------------	--

協働活動開始年度	平成 24 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動		—		—	
	—		放課後子供教室		—	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	
	—		—		4人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無	
	—	—	—	—	—	
参考URL	二					



●連絡先	北広島市教育委員会社会教育課	☎ 011-372-3311
------	----------------	----------------

●活動の概要・経緯

放課後に学校の余裕教室等を活用し、地域の多様な方々の参画を得て、児童に学習やスポーツ、文化活動等の取組の機会を提供し、放課後の子供の安全安心な居場所づくりとともに、基礎的な学力・体力等の向上を図ることを目的として、活動を行っている。

平成24年から北広島市立大曲小学校を皮切りに、平成28年には双葉小学校、平成31年(令和元年)には東部小学校で放課後子供教室を開設した。

現在は、事業を実施している3校にコーディネーターを配置し、教育委員会が主導しながら体験活動等の企画運営を行い、学童クラブとも連携を取りながら事業を実施している。また、地域の人材や団体(NPO、北海道警察など)と連携し、体育や文化活動、学習(算数・国語・英語など)、手話などの活動にも積極的に取り組んでいる。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 1 実施している3校にコーディネーターを配置し、教育委員会だけでなく学校間の連携を取りながら、企画運営を行っている。
- 2 放課後子供教室の当日には、学校教諭からも児童に声掛けがなされ、放課後における児童の居場所づくりに貢献している。
- 3 学校の授業で受ける内容だけでなく、日常的に体験しにくい活動を行うことで、児童の新たな学びの場を提供している。
- 4 長期休業又は学校行事以外の毎週水曜日に実施することで、家庭学習の習慣付けに貢献している。
- 5 地域の人材や団体を活用することで、地域住民の協力意識を醸成している。

【実施に当たっての工夫】

- 1 教育現場経験者などを指導者として活用することで、学習や体験授業を通し、児童の生活指導を実施している。
- 2 参加児童を完全登録制とし、学童クラブの入退所情報を共有するなど、児童の居場所の把握に努めている。
- 3 事業終了時(年度末)に参加者を対象にアンケートを実施し、次年度以降の企画立案・運営に活用している。
- 4 市教委の担当者が変更になったとしても、安定した学習環境を提供できる体制づくりを目指している。

【関係機関・団体等との連携状況】

市内の活動団体と連携し、特色を持った体験学習を行っている(H31:ひろしま音頭、H30:HIPHOPダンス、各年:手話 など)。また、学童クラブ諸室を使用して事業を実施しており、関係機関及び関係者が一体となって教育活動を行っている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

協働活動支援員の多くは、現役を引退した方であるが、学校支援及び放課後子供教室での活動が生きがいになっている方も多い。また、本事業の話や協働活動支援員から聞いた地域の方が登録を行うなど、横のつながりから支援員の数は増加している。このことから、地域と学校が協力して教育活動を行う環境の醸成がなされている。

また、市が子育て世代へ実施したアンケートにおいて、「放課後に過ごさせたい場所」の回答が「放課後子供教室」となっているものが、全体で1割程度あったことから、放課後子供教室を実施している市内の市立小学校が33%であること、実施校において参加率が全体の25%程度であることを考慮すると、児童の保護者からの認知は進んでいると考えられる。

●その他

令和2年度においては新型コロナウイルス感染拡大の情勢を受け、回数を減らして実施(基本的には各校年20回)



空手体験授業



手話授業